

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和5年7月26日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県彦根市賀田山町1405-3

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
医療法人社団成仁会 成美記念クリニック
理事長 安食 元

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	医療法人社団成仁会 成美記念クリニック 理事長 安食 元
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県彦根市賀田山町1405-3

1 事業者の概要

事業所の名称	医療法人社団成仁会 成美記念クリニック					
事業所の所在地	滋賀県彦根市賀田山町1405-3					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	8	3	1	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 一般病院
事業の概要	内科 小児科 外科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 麻酔科					
従業員の数	16	人	作業時間	10	時間/日	
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	208 台
	コンプレッサ	台	空気調和設備	16 台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和4	年度	報告対象年度	令和4	年度
	終了年度	令和5	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

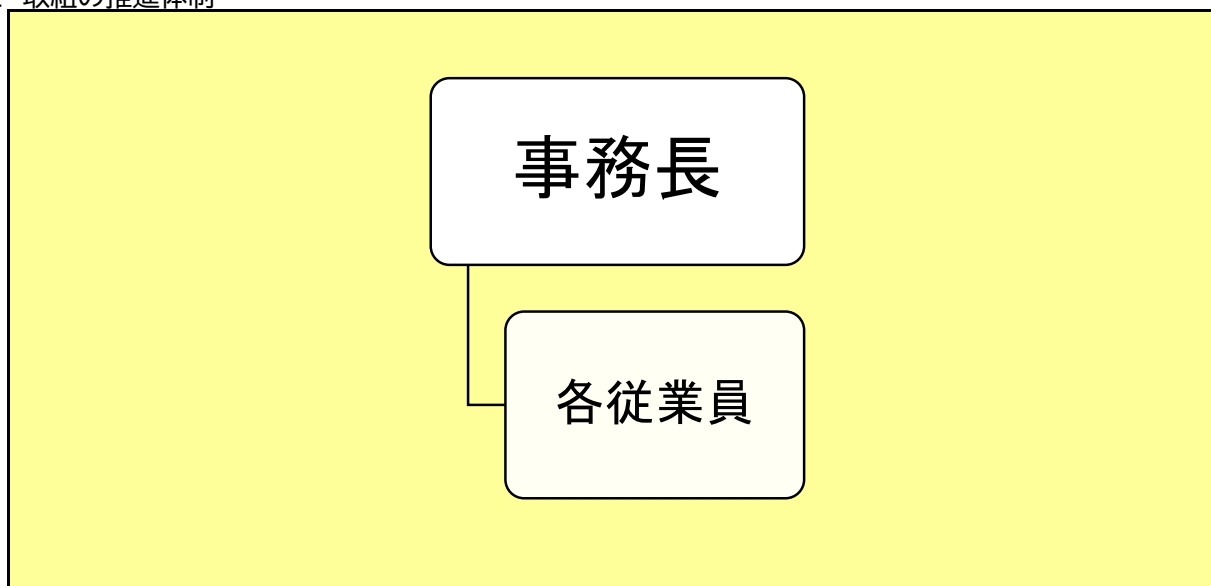
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

医療法人社団成仁会成美記念クリニックは、CO₂ネットゼロ社会づくりに貢献するために、温室効果ガス排出削減に取り組めます。

- (1)常に環境負荷を考慮した行動を心がけます。
- (2)既存設備の更新や新設の際は、環境に配慮したものを導入します。
- (3)全社員が一体となって、CO₂排出削減に向けた提案・実行を行います。
- (4)中長期に計画・実行・評価・改善といったPDCAサイクル活動を実行し、省エネを推進します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・照明や空調の不必要時のOFF
- ・事務用機器は省電力モードを利用
- ・夏季の涼しい時間帯は空調を使用せず窓を開ける

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	室内空調温度設定緩和による省エネ	令和4年度～令和5年度	令和4年度から実施中
2	運用改善	空調機の室外機の日射遮蔽による省エネ	令和4年度～令和5年度	検討中
3	設備導入	空調サーキュレータによる省エネ	令和4年度～令和5年度	検討中
4	設備導入	最新高効率照明設備への更新	令和4年度～令和5年度	令和4年に実施
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>基準年度(令和3年度)と比較して、計画終了時(令和5年度)に以下目標数値の達成を目指す。尚、令和4年度の報告は、途中経過報告とする。</p> <p>①電力使用量:基準年度から14,000kwh削減 ②CO₂排出量:基準年度から9t-CO₂削減</p> <p>※実績を目標と適切に対比させるために、計画期間中の温室効果ガス排出量の算定は、令和3年度(0.424kg-CO₂/kwh 日本テクノ調整前)の係数を固定して計算する。</p>	<p>【結果】</p> <p>①電力使用量:158kwh増加 ②CO₂排出量:±0 引き続き省エネ対策に取り組んでいく</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(4)年度	()年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	13	13			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	21	23			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	21	23			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂					
CH ₄	t-CO ₂					
N ₂ O	t-CO ₂					
HFCs	t-CO ₂					
PFCs	t-CO ₂					
SF ₆	t-CO ₂					
NF ₃	t-CO ₂					
エネルギー等原単位の推移						

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。